

まほろば【校長室だより】

[文責]

校長 江口 尋信

グリーンカーテン大作戦 ～ゴーヤとアサガオの苗をいただきました～

5月9日（金）、太宰府小校区自治協議会様（太宰府小校区を構成する14行政区自治会によって結成された会）からゴーヤとアサガオの苗をたくさんいただきました。太宰府小校区自治協議会では、平成23年3月の東日本大震災の復興事業としてゴーヤやアサガオを育て「グリーンカーテン」とすることで、少しでも省エネに貢献しようと、この事業を始めたのだそうです。そういえば、大規模な地震と津波による福島第一原子力発電所の事故に伴って電力の供給不足が生じ、当たり前に使っていた電気の有難さを感じたことを憶えています。



トラックで運び込まれたゴーヤとアサガオの苗（太宰府天満宮の大駐車場にて）



自治会の皆さんと記念写真(私も入れていただきました)

ふと、気になったことは、本校の子どもたちは、この「グリーンカーテン大作戦」について知っているのかということです。私は、この事業について、ぜひとも、子どもたちに話をしたいと思います。そして、自然災害や地球温暖化問題、持続可能な社会をつくる地域の人たちの地道な取組等について、子どもたちといっしょに学ぶ機会にしたいと思います。太宰府小校区自治協議会の皆様、ありがとうございました。

子どもが言う通りです

朝の登校時間、正門と裏門に立って、子どもたちの登校の様子を見守っています。先日、私が正門に立っていたところ、5年生の女の子が、「命の水を知っていますか？」と尋ねてきました。「命の水」とは、自然災害に備えて学校に置いておくミネラルウォーターを指すのだと教えてくれました。昨年度は、6月末に学校に持って来るようになっていたそうです。その女の子は続けて、「いつ災害があるか分からないから、早く『命の水』を持ってきた方がいいと思います。」と、自分の意見を言ってきました。女の子の言う通りです。私たち教師の災害に対する意識の甘さを指摘されたように感じました。子どもは、物事の本質をよくみています。今月中に「命の水」を集めたいと思います。各家庭での準備をよろしくお願いします。